

風車

経過報告と反対署名の呼びかけ！！

町長様に「陳情書」

去る2月17日（金）に町民の皆様のご署名と共に、風車反対の「陳情書」を町長様にお届けしてまいりました。町長様に於かれましては、

「今は中立の立場で、脱炭素の為に、仁木町の為にどんな再生可能エネルギーが良いのか検討段階であります」というお答えでした。

3月2日現在 署名数と内訳

银山・長沢・尾根内： 334名	大江： 58名	然別： 9名	余市： 422名
仁木本町： 498名	道内： 2,986名	道外： 526名	国外： 2名
デジタル署名：	10,334名		
合計	15,169名		

議会にも「陳情書」

来る3月10日の第一回定例仁木町議会に向けて、議会に於かれましても論議して頂き、町長様の背中を押して頂きたく、横関町議会議長様を始め、仁木町の全町議会議員様にも「陳情書」をお届けしてきました。



「風力発電反対」町に陳情書提出

住民有志

【仁木】関西電力が計画中の風力発電事業（仮称）古平・仁木・余市ウインドファーム」を巡り、住民有志でつくる「仁木町の風力発電を考える会」は17日、町役場で佐藤聖一郎町長と面会し、同事業に対する反対陳情書を手渡した。

陳情書は、低周波音による健康被害への不安や森林伐採に伴う生態系への影響、土砂災害の恐れなどを理由に反対するとしている。町に対しては、全町民を対象とした説明会開催を

要望。また、16日までに届いた反対署名1万4878筆を提出した。同会の酒井雄大さん（35）は「住民の意向をくみ取り道知事に対し風車建設反対の意志を表明していただきたい」と要望。佐藤町長は「計画については中立の立場であることを理解してほしい」と応じた。（松嶋加奈）

北海道新聞 2月18日

紹介議員になって下さる方がありません

この度、議会で議題に上げて頂き、賛否を決議して頂く「**請願書**」を提出する為には、一名以上の町会議員様の紹介が必要だったのですが、未だ引き受けて下さる方がいないのが現状です。「**陳情書**」では効力は弱く、法的拘束力がありません。



本町での署名が少ない

銀山では、住民の**8割以上の署名**が上がっておりますが、「**本町の方での署名が少ない**」との事で、紹介議員が立つには時期尚早とのご判断を戴いております。

話し合いの会も時期尚早

町会議員様方と、「仁木町の風車を考える会」の主要メンバーで「**話し合いの会**」を持ちたいとの申し出にも**時期尚早**とのご判断で、応じてもらえていない現状です。

世帯全員の署名が必要

しかしながら、本町の方でも署名はかなり上がっているのですが、一世帯に一人だけというところが多く、人口比にすると低いという事が分かりました。

訪問すると、今はほとんどの方が署名して下さるといような状況で、主要なところはほとんど全部周りまわりました。これから署名数を上げて行く為には、世帯全員の署名を戴かなければいけない



ようです。また選挙権のないお子様でも、反対の意志を持っていれば大丈夫のようです。お電話一本頂ければ取りに伺います。(仁木町本町周辺：甲田 ☎080-1475-7996)

また、交通の便の悪いところでは、雪道なかなか大変なので回れていないようです。お手数でも署名用紙を郵送して頂ければ有難いと思います。(「仁木町の風力発電を考える会」へ)

少しでも多くの署名を集めて、風車問題は一部の町民が騒いでいるだけではないことを証明し、民意を反映した町政を行って頂けますよう、行政と議会をお願いして行きたいと思っております。

我が家は風車の建設予定地から遠いので関係ないのでは？

低周波音や、耳には聞こえない**超低周波音**の影響は、**20km**先まで届いて**自律神経を攪乱**し、原因不明の**ウツ**や**不眠**、**イライラ**など**精神を不安定にする**という、いわゆる「**風車病**」が発症する報告があります。仁木に住んでいる限り、決して無関係ではありません。

国や事業者は、「科学的に因果関係が証明されていない」というのですが、それは**実在しないという事とは違います**。人を使つての人体実験が道義的に出来ないからです。しかし、建ってしまった「風車病」に罹ってから反対しても遅いのです。**科学的に因果関係が証明されていないという理由で誰も**が助けてくれないからです。



本州では、風車が建って、すでに風車病が出ているところで、**疫学調査**（人を対象にした統計調査）が始まりました。何年もかけて行われます。大勢の人が苦しんでいます。（汐見文隆医師『低周波音被害を追って』等、参照文献あり）

（欧米では多くの疫学調査で証明された数多くの論文や学会発表があり、ドイツなど法律で民家に近い所には建てられなくなっています）

原発にも風車にも反対して、エネルギー源はどうするの？

科学や技術の進歩は日進月歩で、クリーンで再生可能なエネルギーとして、**小水力発電や、水素、核融合、合成石油**など、日本の研究者たちがしのぎを削っています。リスクの多い風車やソーラーにしがみつ়くことはないのではと思います。それに、

「日本の火力発電は驚くほど炭素の排出が少なく、クリーン」なのだそうです。

2月27日、仁木町主催で開催された「仁木町脱炭素×再生可能エネルギーセミナー」で講師の仁木町地域力創造アドバイザーの島田正幸氏が全国の火力発電を隈なく見て回られた感想なので信頼できます。実際調べると、硫黄酸化物が2/300、窒素酸化物が1/125と、日本の最先端技術力は極めて高く、他国に比べて群を抜いています。今日、化石燃料がCO₂の原因であるとは、日本では言えないのです。

火力は、今や効率の良い主力クリーンエネルギーです。再エネもこのバックアップなしには発電できません。石油も石炭も外国に依存していますが、尖閣沖には中東並みの石油埋蔵量が隠れていて、安全保障上、早く自前のエネルギー源が欲しい所です。



支援のカンパ、有難うございます

署名のお願いに伺わなくても、署名用紙を送って下さり、また一緒にカンパも同封して下さる方もあり、本当に助かります。現在**342,512**円になりました。ありがとうございます。
（仮称）古平・仁木・余市ウィンドファーム事業に対する反対署名
印刷代や、講師の御礼、会場費、新聞折り込み代等々、有効に使わせて頂きたいと思ひます。

経済産業大臣 西村康稔 様
環境大臣 西村明宏 様
北海道知事 鈴木直道 様
古平町長 成田昭彦 様
仁木町長 佐藤聖一郎 様
余市町長 齊藤啓輔 様

仁木町の風力発電を考える会
代表 瀬川裕人